

2019年8月9日

Kudan とシーオスが倉庫の完全自動化・無人化ソリューションの 共同開発に向けて業務資本提携契約を締結

Kudan株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 大野 智弘、以下 Kudan）は、2019年8月9日、シーオス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 松島 聡、以下シーオス）に対しての出資を完了しましたことをご知らせいたします。

シーオスは、幅広い業界の大手企業に対して、IoT、AI、ロボット等の活用によるロジスティクスのデジタル化を提供しており、Kudan は機械や AI が三次元空間を知覚し、行動するために重要な役割を占める AP（人工知覚）の提供を行っております。

総務省情報通信白書によれば、人工知能、IoT、ロボティクスを中心とする第四次産業革命は国家の成長戦略の中核とされており、約 30 兆円から 40 兆円の付加価値を作り出すとされ、ロジスティクスの領域においては工場や倉庫で活動する AGV（無人搬送車）がこれにあたります。しかし、これまでは AGV が倉庫内を安全に自動走行するために機械が場所を認識するための磁気テープ等の誘導設備が必要でした。また、工場や倉庫のスマート化に対応し、屋内のレイアウトの自動変化に対応することにも対応が困難でした。

このたび、Kudan は、シーオスの SLAM 式の AGV をテストフィールドとして利用することにより、AP 技術の開発・改良を行うべく、業務資本提携契約を締結いたしました。

【シーオス株式会社について】

シーオス株式会社は、WMS/TMS から AI/ロボットまで。社会インフラとしてのロジスティクスをデジタルネットワーク化することで、産業に革新をもたらす「デジタルロジスティクス・ソリューション・カンパニー」です。あらゆる産業に、ロジスティクスのプロダクトをフルラインで提供しています。

詳細な情報は、<https://www.seaos.co.jp/>より入手可能です。

■会社概要

会社名： シーオス株式会社

代表者： 代表取締役社長 松島 聡

【Kudan 株式会社について】

Kudan（東証上場コード: 4425）は機械（コンピュータやロボット）の「眼」に相当する人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする Deep Tech（ディープテック）の研究開発企

業です。人工知覚（AP）は、機械の「脳」に相当する人工知能（AI）と対をなして相互補完する Deep Tech として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しており、独自の人工知覚（AP）技術に加えて、人工知能（AI）や IoT（Internet of Things）との技術融合に向けた Machine Perception（機械知覚）Deep Perception（深層知覚）や Neural Perception Network（知覚ニューラルネットワーク）に関する研究開発を行っています。詳細な情報は、<https://www.kudan.io/?lang=ja> より入手可能です。

■会社概要

会 社 名： K u d a n 株式会社
証券コード： 4425
代 表 者： 代表取締役 大野 智弘

■問い合わせ先

contact@kudan.eu

